

地域福祉プラン2 に基づく活動報告 —「地域社会と多様性」講座とフードドライブ活動—

基本理念

一人ひとりを尊重し、共に見守り支え合い、心豊かに暮らせるまちをつくります

基本目標1

つながる

地域に、さまざまな人と出会い、互いに尊重し合う関係が生まれる場をつくります。

基本目標2

活動する

それぞれの持ち味やできることを活かす機会をつくり、誰もが活躍できる地域づくりを進めます。

基本目標3

支え合う

誰もが安心して暮らせる地域になるように、みんなで課題に取り組み、支え合う仕組みをつくります。

(図1)

「地域社会と多様性」講座

令和7年11月6日・7日に市社協は、基本目標1の達成に向けて、「地域社会と多様性」講座を開催しました(写真1)。当日は、障がいのある当事者の方、外国にルーツのある方、困難を抱える子どもを犯した方の支援に関わっている4人の方を講師としてお呼びしました。障がいを持たれている当事者から「障がいによる外出のし辛さなどから、交友関係も狭くなりがち傾向にある」という困り事や、各支援者からデータを用いた

基本目標1
つながる

市社協では、市の地域福祉計画と市社協の地域福祉活動計画を一体化した「みんながつながるちがさきの地域福祉プラン2」(令和3年度～令和7年度)をもとに、地域福祉の推進を図っております。地域福祉プラン2では、基本理念の実現に向け、3つの基本計画を設定しています(図1)。本記事では、基本目標1・基本目標2のもと、本年度行った活動の一部をご報告いたします。

フードドライブ活動

基本目標2
活動する

市社協では、基本目標2の達成に向けて、株式会社マルエツと連携し「フードドライブ活動」を行っています。マルエツ茅ヶ崎店とB・L・X茅ヶ崎店の2店舗では、店舗に「食品寄付ボックス」を設け、ご家庭で使い切れない食品の回収を行っています(写真2)。寄付された食品は、市社協を通して市内の子ども食堂や地域のサロン活動利用者など、地域で必要としている方々にお渡しいたします。本事業は、食品を寄付する方、事業者と食料品を必要としている地域の方をつなぎ、誰もが活躍できる地域づくりを目的としております。寄付対象食品に限定がありますが、ご家庭で使い切れない食品の寄付にぜひご協力ください。

地域福祉プラン2



(写真1)

来年度から始まる「みんながつながるちがさきの地域福祉プラン3」(令和8年度～令和12年度)では、地域福祉プラン2の基本理念と基本目標を引き継ぎつつ、市民の皆様、商店、企業、関係機関・団体、市、市社協が連携して地域福祉推進に向けてより努めて参ります。



(写真2)

赤い羽根募金・年末たすけあい募金中間報告

地域を思うたくさんの愛をありがとうございました!

赤い羽根募金

12,523,837円

募金総額(令和8年1月15日時点)

18,758,582円

年末たすけあい募金

6,234,745円

赤い羽根募金の主な使い道

- ・市内の社会福祉施設・団体への支援(社会福祉施設、在宅福祉事業、子ども食堂支援)
- ・市内13の地区社会福祉協議会の活動費
- ・大規模災害時の被災地支援



年末たすけあい募金の主な使い道

- ・経済的に困りの世帯である要援護世帯へ
- ・在宅のねたきり・認知症高齢者の介護を担っている方への慰問金
- ・障害者地域活動支援センターへの配分



ミニデイ・サロン活動
誰もが参加できる
居場所事業への活用!



湘南地区「おでかけワゴン」
高齢者・移動困難な方
のお買い物や通院などの
外出支援に活用!



スマホからも、
募金できます!

赤い羽根募金は引き続き3月31日まで実施中! 募金へのご協力よろしくお願ひします

- ① 市社協窓口(農協ビル2階)で募金する
- ② クレジットカード、モバイル決済、PayPayを利用して、ご自宅から募金する



PayPay

スマホで募金!
PayPayで募金できます